



NPO PTPL “ともいき” 便り No.8

■大暑（たいしょ）号（2012年7月22日発行）

7月22日から8月6日までが大暑。くれぐれも熱中症に気をつけてください。私も日中、外出するときは、なるべく日かげを選んで歩くようにしています。一番いいのは街路樹。影を提供してくれるし、葉の緑が涼やかで風にそよぐ音にも癒されます。もっと街路樹を植えてくれたらいいのと思います。私は勝手に「バンザイの木」と呼んでいるのですが、枝を大きく広げるケヤキを植えてほしいです。みなさんは、なんの木がいいですか。

◎土用の丑の日には、定番「鰻」

7月19日から8月6日までが夏の土用。土用というと夏が印象的ですが、立春、立夏、立秋、立冬の各季の前18日間（または19日間）を土用といい、一年に4回あります。古くは、土の気がさかんな時期なので、‘土を動かしたり、穴を掘ることを忌む’とされています。夏の土用が明けると立秋。この18日間は、季節がゆっくりと移っていく緩衝期ともいえます。（土用の詳しい解説は「ともいき暦」へ）

土用の丑の日に鰻屋にできる行列は、日本の夏景色の一つ。平賀源内が近所の鰻屋に、夏場に鰻が売れないと相談を受けて「本日、土用丑の日」という張り紙を出したら大繁盛したという話は有名です。丑の「う」と鰻の「う」をかけたのでしょうか。さらに奈良時代にも、大伴家持が友人の石麻呂に「石麻呂に 吾物申す 夏瘦せに よしと云ふ物ぞ うなぎ取り召せ」という歌を送っています。（万葉集・巻16）夏に鰻を食べて精をつけるという歴史は1000年以上。大昔から日本人が食べてきた鰻を一行に並べたら、一体……？！

◎丑の日は鰻だけじゃない

今年は稚魚が激減したため鰻価格の高騰が報じられています。アフリカのマ

ダガスカルからも輸入するとか。確かに鰻は栄養価が高いし、夏の風物詩としては欠かせませんが、鰻を食べなくても夏バテに負けない方法があります。例えば、夏の土用にお灸をすえる。特別に効くそうです。また‘丑湯’といって、丑の日にお風呂に菖蒲や薬草をいれて入ると天から薬が流れてくるそうです。鰻とお灸が苦手な私としては、丑湯をチョイスしてみたいと思います。

◎ 土用ことば（広辞苑より）

- 「土用波」。土用のころにくる高い波。子どものころ、海水浴にいくと大きな波がおしよせることがあり、父が「土用波だ」とっていたのを思い出しました。この頃、なぜかクラゲもどっと増えた記憶があります。
- 「土用干し」。かびや虫害を防ぐために衣服や書物などを干すこと。虫干しともいいます。母がめったに着ない着物を干していましたっけ。
- 「土用芽」。不順な天候や落雷などで傷ついた植物が土用の時期にもう一度芽吹くこと。今年は大雨、雹、猛暑かと思えば冷え込んだりして、植物も大変だと思えます。散歩のときに木々や花を注意深く見て、土用芽を発見して力をもraitたいです。
- 「土用餅」。土用についた餅で食べると力をもたらえるそうです。
- 「土用三郎」。土用に入って3日目。この日が快晴なら豊作だそうです。土用は「土」ですから、農耕と深い関係があるのも当然。今年の三郎君は7月21日。うーん。微妙です。太郎君だったら東京は35.1度の猛暑日で、大豊作だったのに。

では、みなさま。大暑の頃、くれぐれもお身体に気をつけてお過ごしください。ちなみに7月23日は「ふみの日」です。暑中見舞いは大暑の時期に。立秋からは残暑見舞いを。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■事務局便り

◎お詫びと訂正

7号「小暑」の私の文章に誤った記述をしてしまいました。

お詫びして訂正いたします。

原文：

青森の「ねぶた祭り」や秋田の「竿燈」も、七夕祭のひとつだそうです。

「もともと七夕は日本固有の民俗行事で。七月のお盆の先祖祭につながるもの。お盆の前に穢れを祓い清める行事であったと解釈できます」

この文中、アンダーラインを引いた箇所は事実と異なる誤った記述でした。

合わせて、小暑の節気期間7月7日～7月22日となっていましたが、7月7日～7月21日の誤りです。深くお詫びいたします。

朝倉 勇

※ 「七夕」の解説については「ともいき暦」 (<http://tomoiki.tv/calendar/>) の表紙に表記してある7月7日のグリーンのマークをクリックしてください。解説がご覧いただけます。

◎前号の「小暑号」でもお知らせいたしましたが、「facebookともいきぐらし」 (<http://www.facebook.com/tomoikigurashi>) がスタートしました。ぜひ、アクセスしていただき、コメントをお寄せください。そして、ご賛同いただければ、「いいね！」ボタンを押してください。

◎ “ともいき” 便りは、基本的に郵送しておりますが、お知り合いの方にメールなどで配信ご希望の方は、事務局までお知らせください。テキストデータでお送りします。

◎ 皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp